



取扱説明書(いすゞ編)

ご使用になる前に	1
はじめに.....	2
安全にご利用になるために	3
診断機能	5
作業サポート機能.....	6
《作業サポート「DPD強制再生」》.....	11
《作業サポート「DPD強制ゆっくり再生」》.....	17
《作業サポート「DPD再生データリセット」》.....	18
《作業サポート「インジェクターIDコード確認」》.....	20
《作業サポート「インジェクターIDコード登録」》.....	21
《作業サポート「インジェクターIDコード読み込み/書き込み(ECU交換時)」》.....	25
《作業サポート「MAF補正データ読み込み/書き込み(ECU交換時)」》.....	28
《作業サポート「Q調補正データ読み込み/書き込み(ECU交換時)」》.....	28
《作業サポート「MAF補正データ確認」》.....	29
《作業サポート「MAF補正データサービスモード」》.....	30
《作業サポート「サプライポンプ学習値クリア」》.....	32
《作業サポート「Q調補正データ確認」》.....	34
《作業サポート「エンジン始動回数書き込み(ECU交換時)」》.....	35
《作業サポート「エンジン始動回数書き込み(スタータ交換時)」》.....	38

ご使用になる前に

はじめに.....	2
安全にご利用になるために	3

本取扱説明書では、いすゞ車の診断機能に関してご説明させていただきます。
ご使用の前に本取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。
本体の基本的な操作は、本体の取扱説明書をご覧ください。

株式会社インターサポート

- 本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前に、必ず本取扱説明書ならびに添付のその他の取扱説明書を必ずお読みください。
- 本取扱説明書および添付のその他の取扱説明書では、人に対する危害や財産への損傷を未然に防止するために、危険を伴う操作、お取扱について、次の記号で警告または、注意しています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

**警告**

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。

**注意**

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が負傷を負う可能性、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

本製品を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

以下に述べられている警告や他の案内を無視した事が原因となる製品の損害や、被害などに関しては、当社は一切責任を負いません。



警告

- 走行状態でご使用になる場合には、必ず運転者、操作者の2人でご使用ください。操作に気を取られて事故につながる恐れがあります。
- アクティブテストは必ずのサービスマニュアルにより各システムの駆動システム、制御内容を十分に理解した上で行ってください。使用方法を間違えると、車両に悪影響をおよぼし事故発生の原因となる恐れがあります。
- アクティブテストは車両が正常な状態（ウォーニングランプ消灯時、故障未検出時）および、車両停止状態（パーキングブレーキをかけて、輪留めをする）で実行してください。



注意

- いすゞ車または、いすゞ製造のOEM車以外に使用しないでください。


診断機能

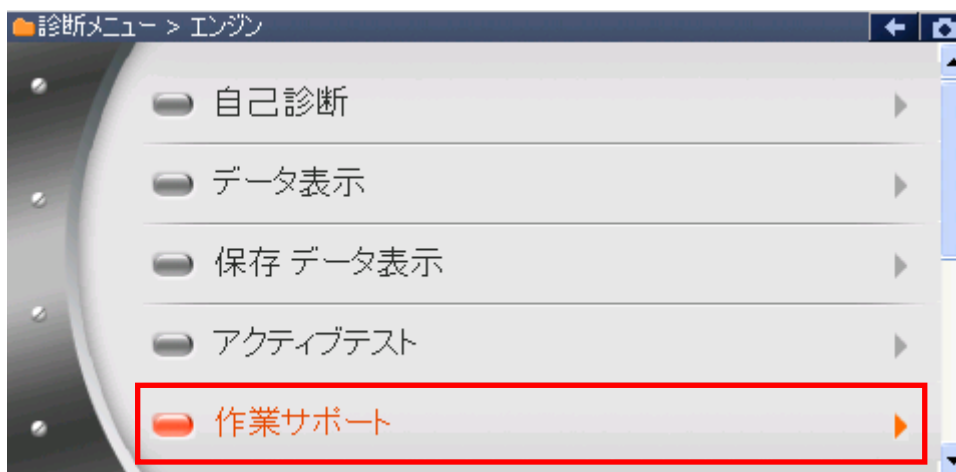
作業サポート機能.....	6
《作業サポート「DPD強制再生」》.....	11
《作業サポート「DPD強制ゆっくり再生」》.....	17
《作業サポート「DPD再生データリセット」》.....	18
《作業サポート「インジェクターIDコード確認」》.....	20
《作業サポート「インジェクターIDコード登録」》.....	21
《作業サポート「インジェクターIDコード読み込み/書き込み(ECU交換時)」》.....	25
《作業サポート「MAF補正データ読み込み/書き込み(ECU交換時)」》.....	28
《作業サポート「Q調補正データ読み込み/書き込み(ECU交換時)」》.....	28
《作業サポート「MAF補正データ確認」》.....	29
《作業サポート「MAF補正データサービスモード」》.....	30
《作業サポート「サプライポンプ学習値クリア」》.....	32
《作業サポート「Q調補正データ確認」》.....	34
《作業サポート「エンジン始動回数書き込み(ECU交換時)」》.....	35
《作業サポート「エンジン始動回数書き込み(スタータ交換時)」》.....	38




警告

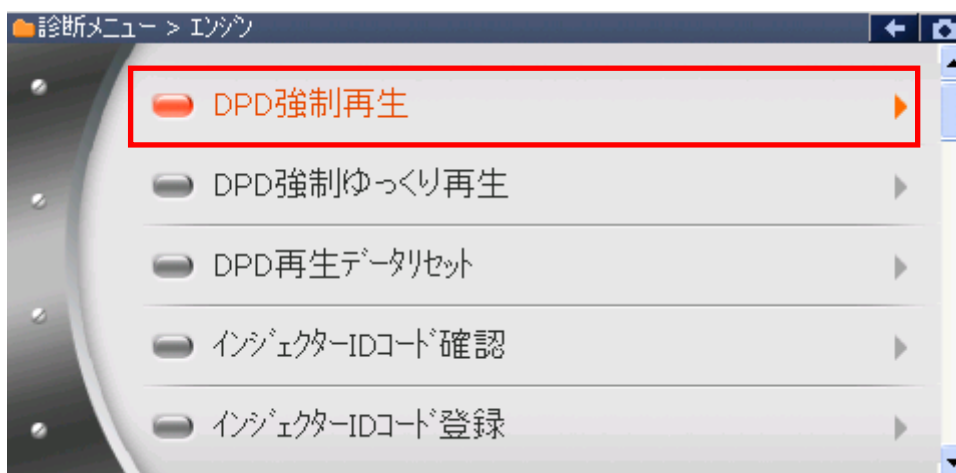
- 作業サポートは必ずサービスのサービスマニュアルにより各システムの駆動システム、制御内容を十分に理解した上で行ってください。
- 使用方法を間違えると車両に悪影響をおよぼし、事故発生の原因となる恐れがあります。
- 作業サポートは車両が正常な状態（ウォーニングランプ消灯時、故障未検出時）で実行してください。
- 作業サポートを実行する場合は必ず車両を以下の状態にしてください。
車両をこの状態にできない場合は作業サポートを実行しないでください。
 1. 車両停止状態。（パーキングブレーキをかけて、輪留めをする）
 2. ブレーキペダルを踏込む。
 3. ギア位置はPレンジまたはNレンジにする。

1) 診断メニューにおいて『作業サポート』を選択して  ボタンを押してください。



〈図: 診断メニューにて作業サポートを選択〉

- 2) 作業サポート項目選択画面が表示されます。実行する項目を選択して  ボタンを押してください。



〈図: エンジン作業サポート項目選択画面〉

DPD強制再生 : DPD強制再生を実施します。
※所要時間 = 約20分

DPD強制ゆっくり再生 : DPD強制ゆっくり再生を実施します。
強制再生に比べてDPDへの負荷を軽減して再生を実施します。
※所要時間 = 約120分
※一部の車両には本機能は搭載されていません。

DPD再生データリセット : DPD交換時、またはDPD再生を行う際に使用します。

インジェクターIDコード確認 : 各気筒のインジェクターIDコードを確認する際に使用します。

インジェクターIDコード登録 : インジェクター交換時、ECUにインジェクターIDコードを登録する際に使用します。

インジェクターIDコード

読み込み/書き込み (ECU交換時) : ECU交換時、インジェクターIDコードを自動で読み込み/書き込みを行います。

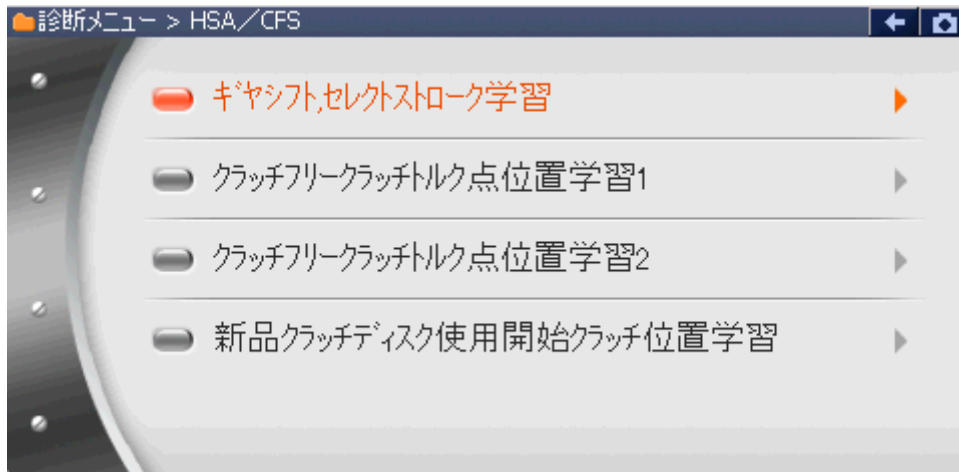
MAF補正データ確認 : MAFの補正データの確認する際に使用します。

MAFデータサービスモード : MAF交換時、MAFの補正データを設定する際に使用します。

MAF補正データ

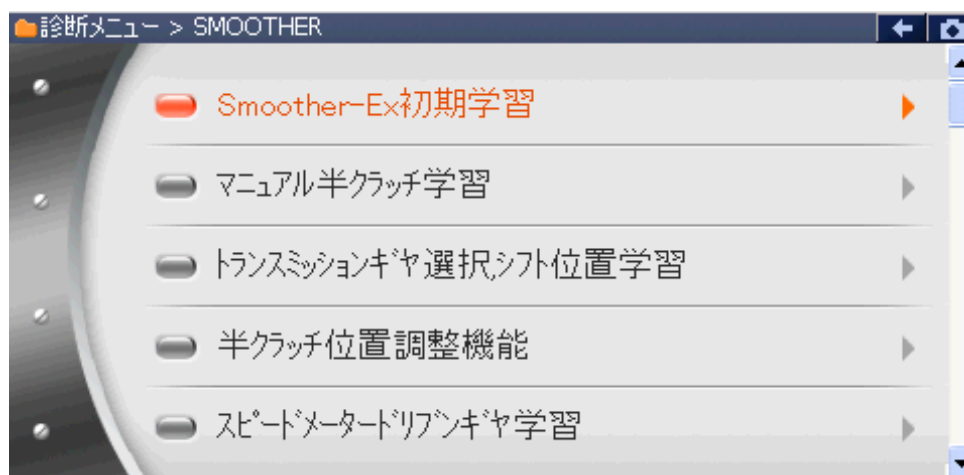
読み込み/書き込み (ECU交換時) : ECU交換時、MAF補正データを自動で読み込み/書き込みを行います。

- Q調補正データ確認** : Q調補正データの確認する際に使用します。
- Q調補正データ読み込み/書込み(ECU交換時)** : ECU交換時、Q調補正データを自動で読み込み/書込みを行います。
- サプライポンプ学習値クリア** : サプライポンプ学習値の初期化を行います。
- エンジン始動回数書込み(ECU交換時)** : ECU交換時、ECUにエンジン始動回数を登録する際に使用します。
- エンジン始動回数書込み(スタータ交換時)** : スタータ交換時、ECUにエンジン始動回数を登録する際に使用します。
- アクセル学習データ(プログラミング)** : ECU交換時、アクセルペダル位置を学習させる際に使用します。
- アクセル学習データ(強制プログラミング)** : ECU交換時、アクセルペダル位置を強制的に学習させる際に使用します。



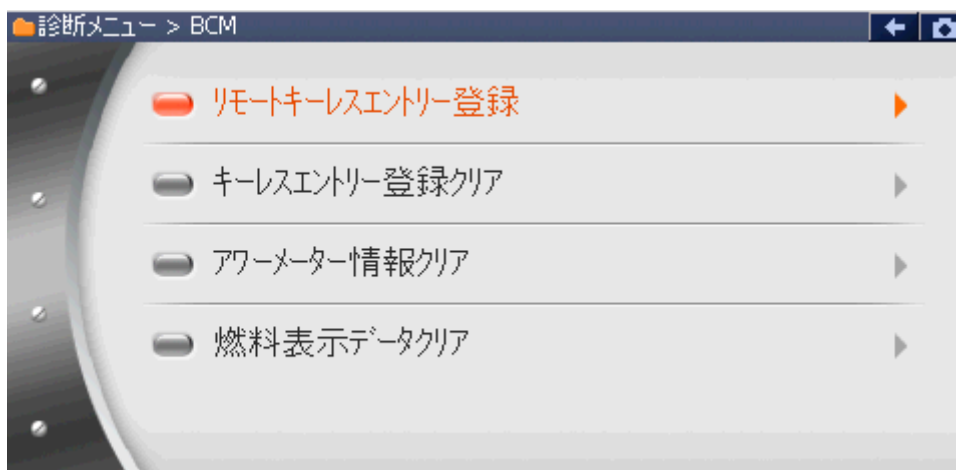
〈図：HSA/CFS作業サポート項目選択画面〉

- | | | |
|------------------------------------|---|--|
| ギヤシフト,セレクトストローク
学習 | : | ギヤコントロールレバー、シフトおよびセレクトストロークの学習の際に使用します。 |
| クラッチフリークラッチトルク点
位置学習1 | : | 初期のクラッチトルク伝達点位置を学習します。 |
| クラッチフリークラッチトルク点
位置学習2 | : | 初期のクラッチトルク伝達点位置を学習します。
※1の方法で上手くいかない場合はこちらを試してください。 |
| 新品クラッチディスク使用開
始クラッチ位置学習 | : | 新品クラッチ交換時、クラッチ摩耗警報を行うための
基準となる新品クラッチの位置を学習します。 |



〈図：Smoother作業サポート項目選択画面〉

- Smoother初期学習** : 半クラッチとトランスミッションギヤ選択/シフト位置学習を同時に学習します。
- マニュアル半クラッチ学習** : マニュアル半クラッチを学習します。
- トランスミッションギヤ選択シフト位置学習** : トランスミッションギヤ選択シフト位置を学習します。
- 半クラッチ位置調整機能** : 半クラッチ位置調整機能を学習します。
- スピードメータードリブンギヤ学習** : スピードメータードリブンギヤを学習します。
- 車型のプログラム** : エンジン型式、トランスミッションタイプを登録する際に使用します。
- PTO要求エンジン回転数** : PTO要求エンジン回転数を登録する際に使用します。
- スピードメーターギヤのプログラム** : スピードメータードリブンギヤ枚を登録する際に使用します。
- タイヤサイズのプログラム** : タイヤサイズを登録する際に使用します。
- タイヤ補正率のプログラム** : タイヤ補正率を登録する際に使用します。
- ファイナルギヤ比書換え** : ファイナルギヤ比を登録する際に使用します。
- ABS装着のプログラム** : ABSステータスを登録する際に使用します。



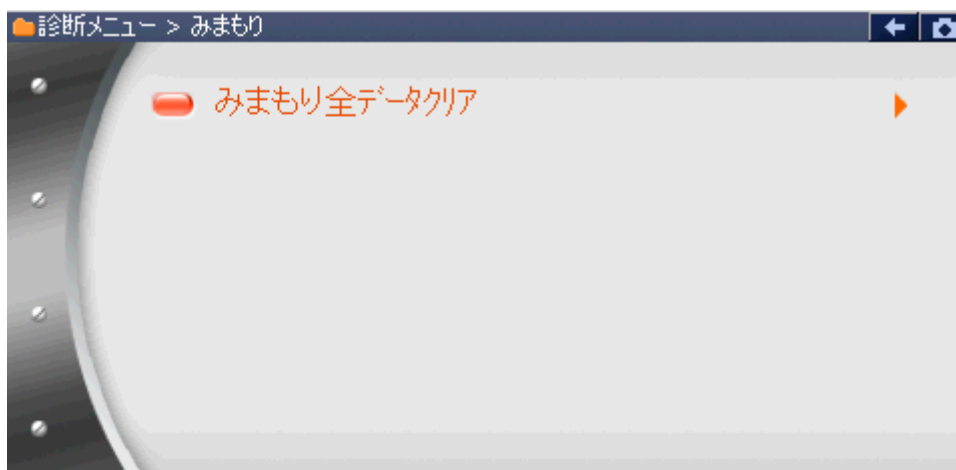
〈図:BCM作業サポート項目選択画面〉

**リモートキーレス
エントリー登録** : リモートキーの登録を行います。

**キーレスエントリー
登録クリア** : リモートキーの消去を行います。

**アワーメーター情報ク
リア** : アワーメーター情報をクリアします。


燃料表示データクリア : 燃料表示をクリアします。

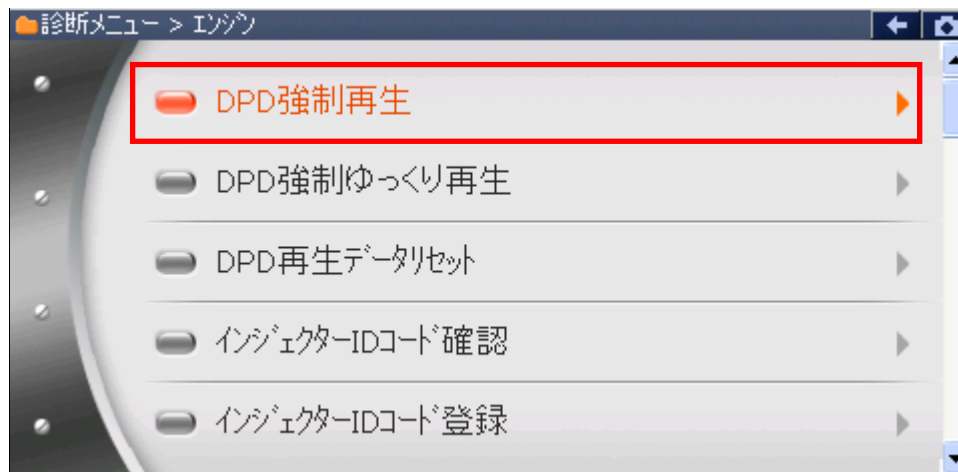


〈図:みまもり作業サポート項目選択画面〉

みまもり全データクリア : みまもり全データをクリアします。

《作業サポート「DPD 強制再生」》

- 1) 作業サポート項目選択画面から『DPD強制再生』を選択して  ボタンを押してください。

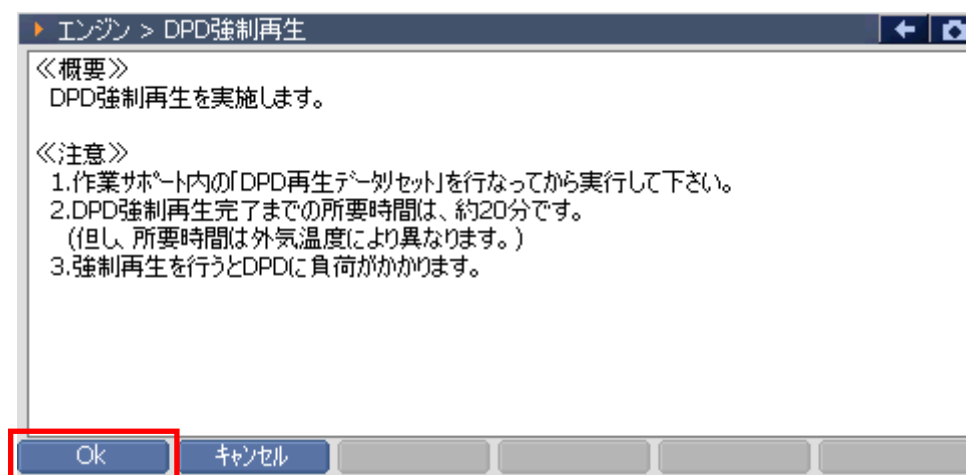


〈図: 作業サポート項目選択画面〉

- 2) 『DPD強制再生』の注意メッセージ画面に移ります。

注意メッセージが表示されますので、内容をご確認いただき、よろしければ

 ボタンを押してください。

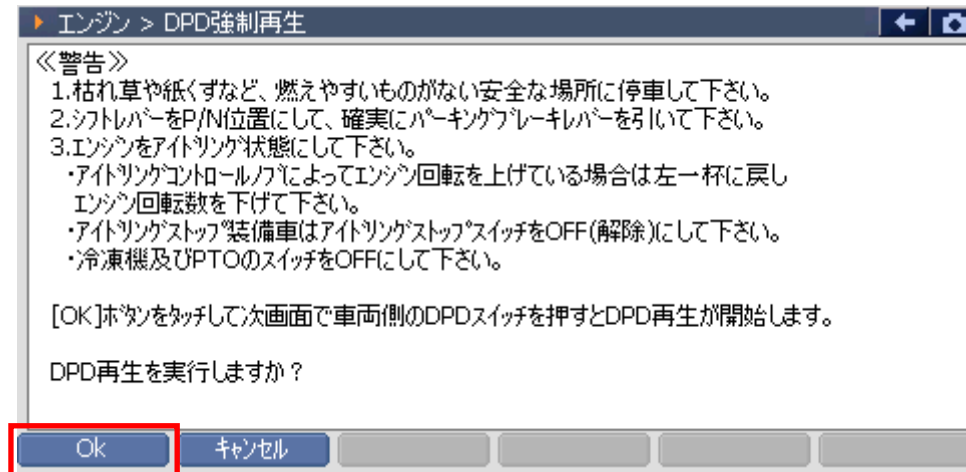


〈図: 注意メッセージ画面 DPD強制再生〉

3) 『DPD強制再生』の警告メッセージ画面に移ります。

警告メッセージが表示されますので、内容をご確認いただき、よろしければ

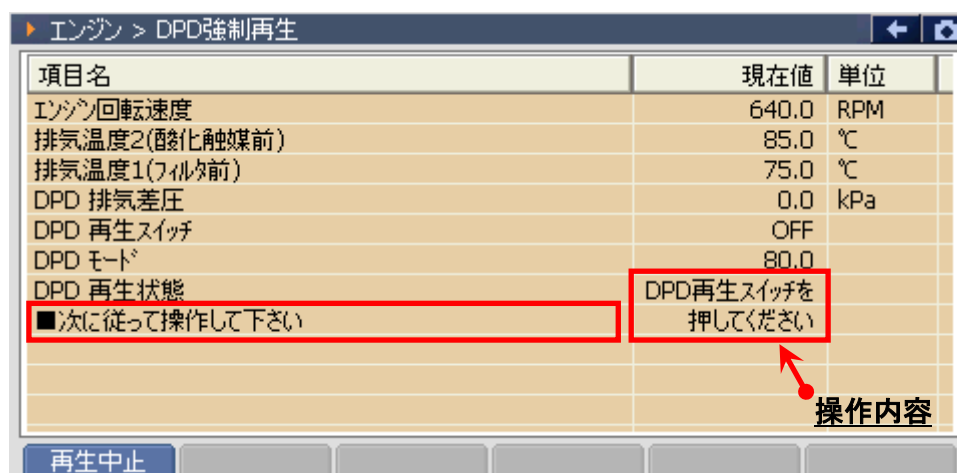
Ok ボタンを押してください。



〈図: 警告メッセージ画面 DPD強制再生〉

4) 『DPD強制再生』の実行画面に移ります。

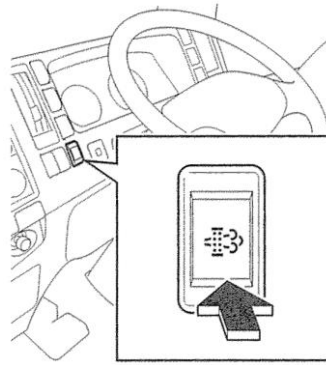
DPD強制再生中の状態が表示されます。『次に従って操作してください』の操作に従い、車両側のDPDスイッチを押すとDPD強制再生が始まります。



〈図: 実行画面 DPD強制再生〉

※ 注意と補足※

- ・ 以下、DPD再生強制再生の例を示します。車両により状態遷移が異なる場合があります。



〈図:DPDスイッチ〉

※ 注意と補足※

・上記のDPDスイッチは車両により配置位置、形状が異なる場合があります。

DPD強制再生開始後、自動的にエンジン回転速度が上がり、徐々に排気温度2(酸化触媒前)、排気温度1(フィルタ前)が上昇します。

項目名	現在値	単位
エンジン回転速度	736.0	RPM
排気温度2(酸化触媒前)	175.0	℃
排気温度1(フィルタ前)	150.0	℃
DPD 排気差圧	0.1	kPa
DPD 再生スイッチ	OFF	
DPD モード ^s	220.0	
DPD 再生状態	再生予備昇温中	
■次に従って操作して下さい	操作不要	

再生中止

〈図:実行画面 DPD強制再生〉

項目名	現在値	単位
エンジン回転速度	992.0	RPM
排気温度2(酸化触媒前)	590.0	℃
排気温度1(フィルタ前)	335.0	℃
DPD 排気差圧	0.1	kPa
DPD 再生スイッチ	OFF	
DPD モード ^s	270.0	
DPD 再生状態	再生中(1)	
■次に従って操作して下さい	操作不要	

再生中止

〈図:実行画面 DPD強制再生〉

- 5) 約20分経過後、エンジン回転速度が下がり、『DPD再生状態』が『浄化判定中』となります。『次に従って操作してください』の操作に従い、エンジン回転速度を2000RPM以上にします。

項目名	現在値	単位
エンジン回転速度	624.0	RPM
排気温度2(酸化触媒前)	525.0	℃
排気温度1(フィルタ前)	285.0	℃
DPD 排気差圧	0.1	kPa
DPD 再生スイッチ	OFF	
DPD モード	10.0	
DPD 再生状態	浄化判定中	
■次に従って操作して下さい	2000RPM以上	

再生中止

〈図:実行画面 DPD強制再生〉

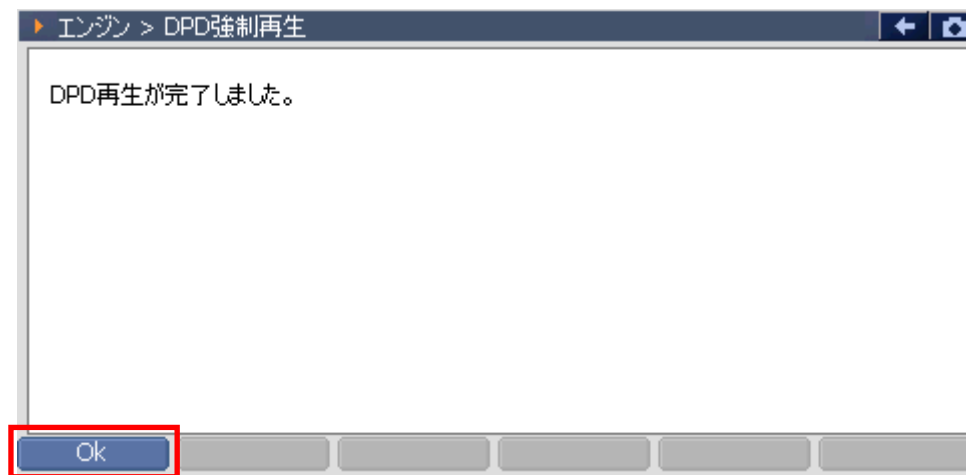
- 6) 『DPD再生状態』が『再生完了』と表示されましたらDPDの再生が完了し、『DPD強制再生』の完了画面に移ります。

項目名	現在値	単位
エンジン回転速度	617.0	RPM
排気温度2(酸化触媒前)	460.0	℃
排気温度1(フィルタ前)	238.0	℃
DPD 排気差圧	0.0	kPa
DPD 再生スイッチ	OFF	
DPD モード	30.0	
DPD 再生状態	再生完了	
■次に従って操作して下さい	操作不要	

再生中止

〈図:完了画面 DPD強制再生〉

- 7) DPD再生完了メッセージが表示されますので、**Ok** ボタンを押してDPD再生を完了してください。



〈図:完了画面 DPD強制再生〉


- 8) やむを得ず、『DPD強制再生』を途中で中止する場合は **再生中止** ボタンを押してください。

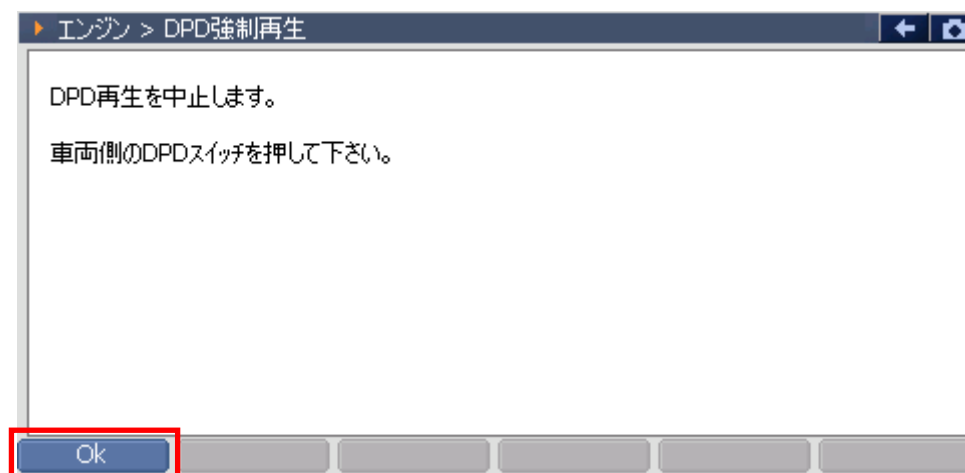


項目名	現在値	単位
エンジン回転速度	640.0	RPM
排気温度2(酸化触媒前)	85.0	℃
排気温度1(フィルタ前)	75.0	℃
DPD 排気差圧	0.0	kPa
DPD 再生スイッチ	OFF	
DPD モード	80.0	
DPD 再生状態	DPD再生スイッチを	
■次に従って操作して下さい	押してください	

〈図:実行画面 DPD強制再生〉

9) 再生中止メッセージ表示されますので、メッセージに従い操作してください。

 ボタンを押してDPD強制再生を中止してください。



〈図:再生中止画面 DPD強制再生〉

※注意と補足※


- ・ 注意、警告メッセージは必ず最後までご確認ください。
- ・ 手順通りに実施しないと、正常に動作しない場合があります。

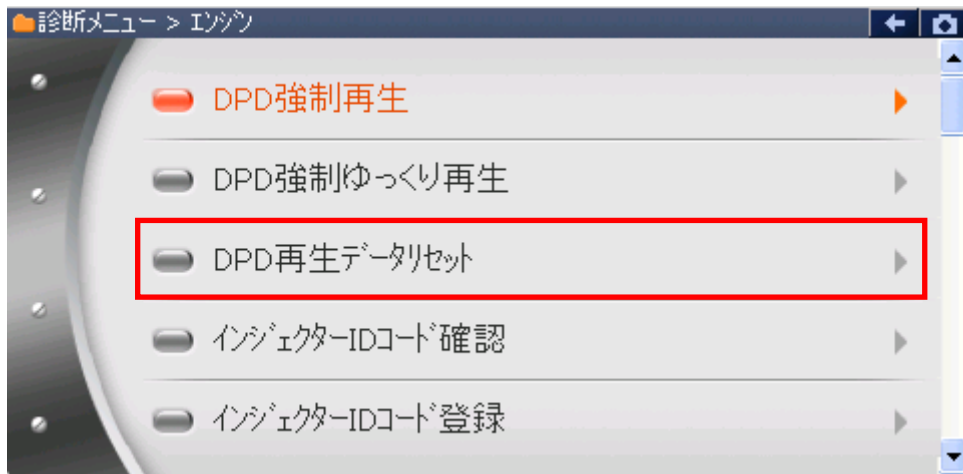
《作業サポート「DPD強制ゆっくり再生」》

※注意と補足※


- ・ 基本的な作業の流れは「DPD強制再生」と同様となります。
- ・ 「DPD強制再生」に比べてDPDへの負荷を軽減して実施します。
- ・ 所要時間は約120分です。
- ・ 注意、警告メッセージは必ず最後までご確認ください。
- ・ 手順通りに実施しないと、正常に動作しない場合があります。

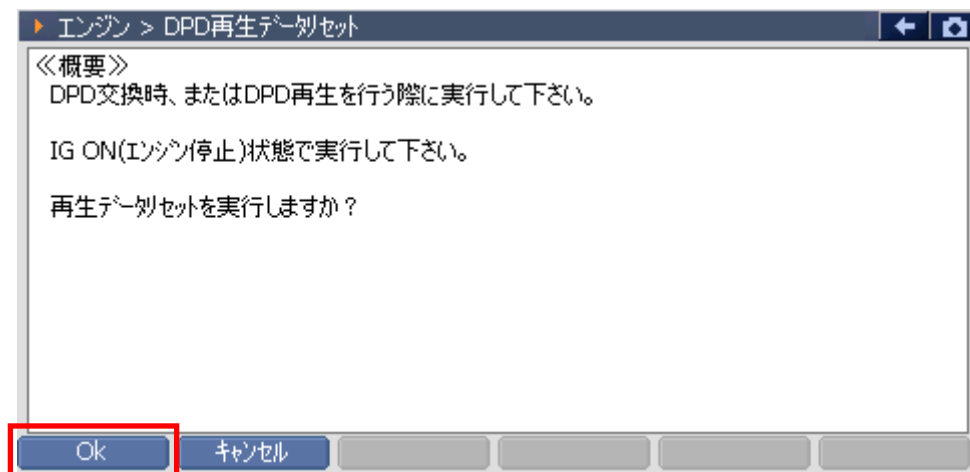
《作業サポート「DPD再生データリセット」》

- 1) 作業サポート項目選択画面から『DPD再生データリセット』を選択して  ボタンを押してください。



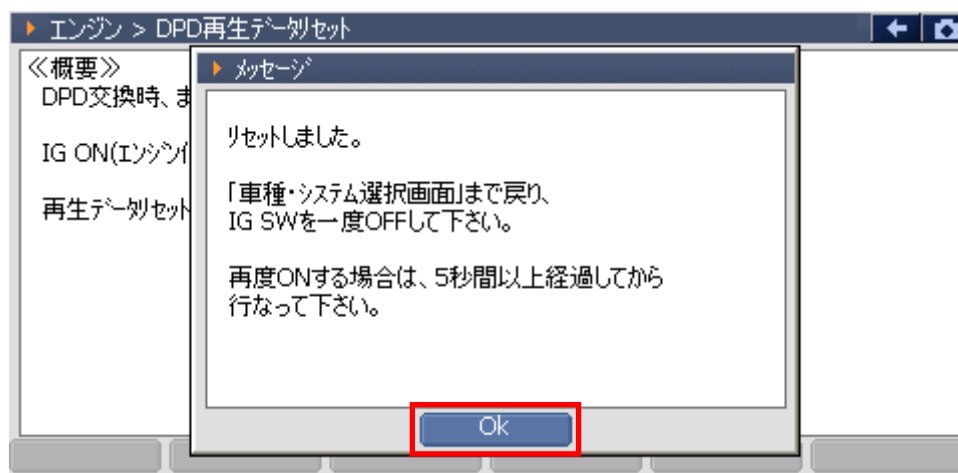
〈図: 作業サポート項目選択画面〉

- 2) 確認メッセージ画面に移ります。確認メッセージが表示されますので、内容をご確認いただき、よろしければ  ボタンを押し、画面の指示に従ってDPD再生データリセットを実行してください。



〈図: 確認メッセージ画面 DPD再生データリセット〉


- 3) DPD再生データリセット完了のメッセージが表示されます。画面の指示に従って操作し、**Ok** ボタンを押してDPD再生データリセットを終了します。

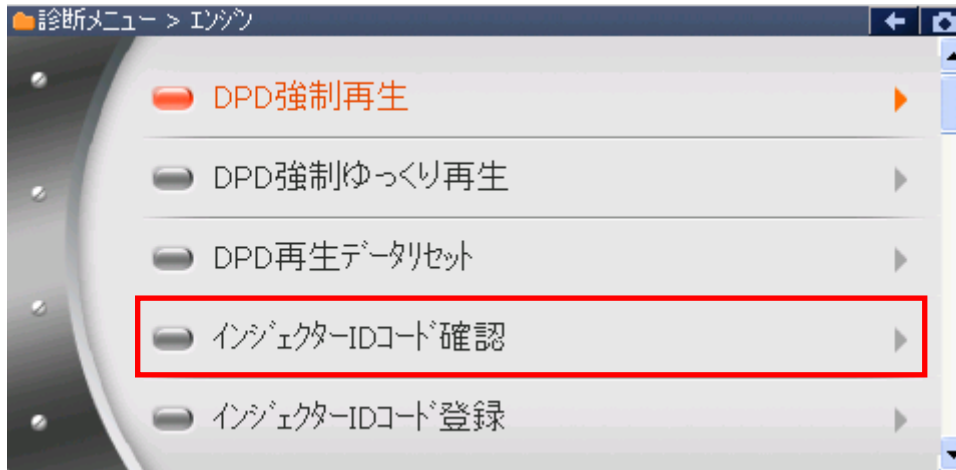


〈図:完了メッセージ画面 DPD再生データリセット〉


《作業サポート「インジェクターIDコード確認」》

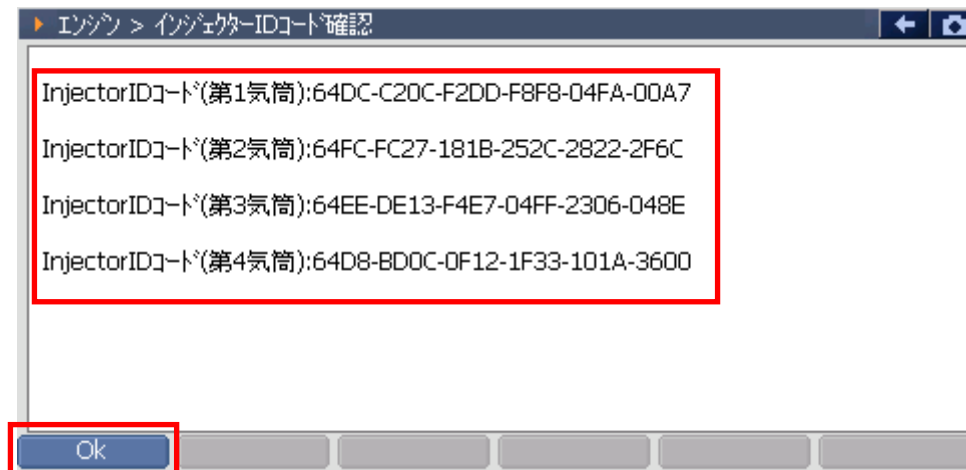
1) 作業サポート項目選択画面から『インジェクターIDコード確認』を選択して

 ボタンを押してください。



〈図: 作業サポート項目選択画面〉

2) インジェクターIDコードが確認できます。よろしければ  ボタンを押し、インジェクターIDコード確認を終了してください。




〈図: 確認メッセージ画面 インジェクターIDコード確認(4気筒)〉

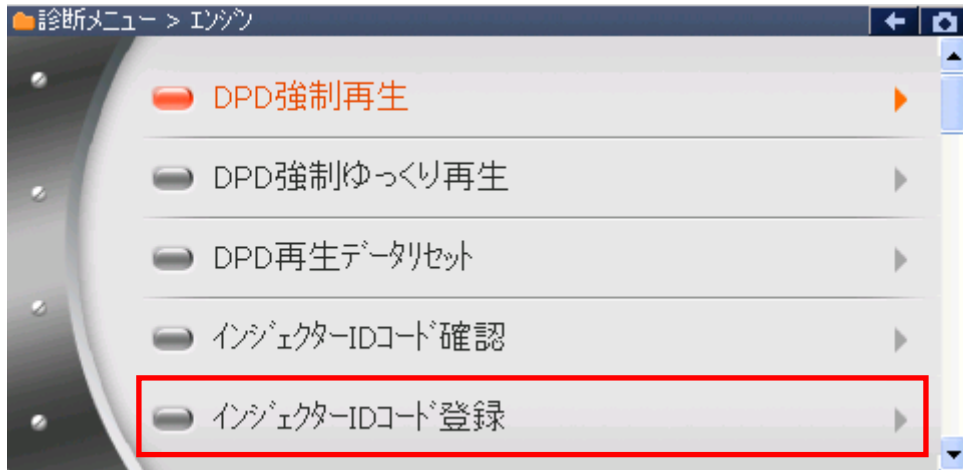
※補足※

- ・ 6気筒エンジン(ギガ: 6UZ1-TC, 6WG1-TC、フォワード: 6HK1-TC等)ではインジェクターIDコードに6気筒分表示されます。

《作業サポート「インジェクターIDコード登録」》

- 1) 作業サポート項目選択画面から『インジェクターIDコード登録』を選択して

 ボタンを押してください。

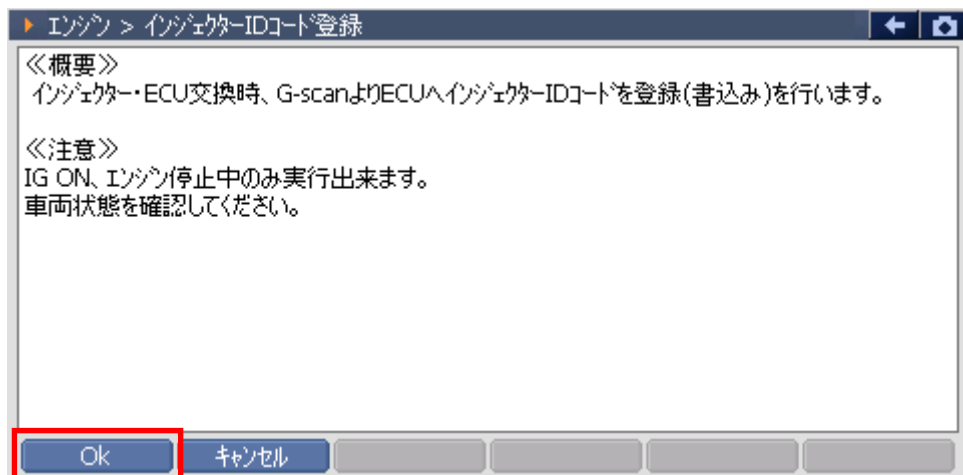


〈図: 作業サポート項目選択画面〉

- 2) 『インジェクターIDコード登録』の注意メッセージ画面に移ります。

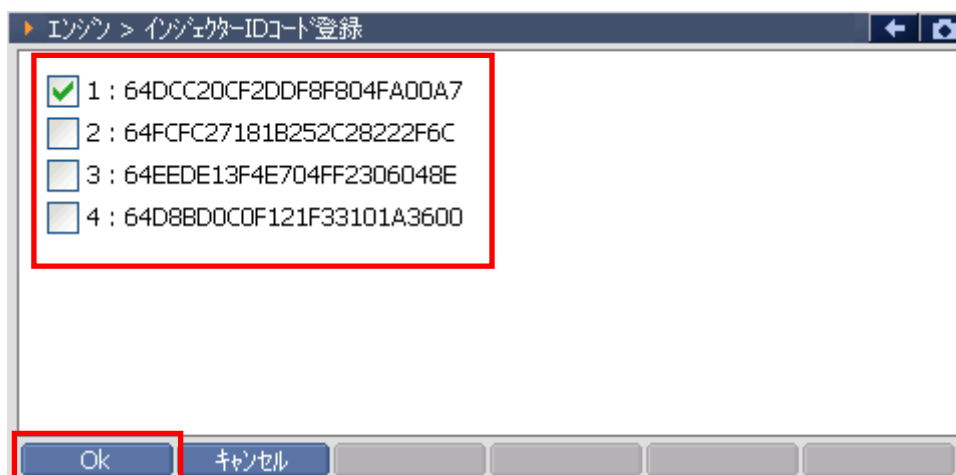
注意メッセージが表示されますので、内容をご確認いただき、よろしければ

 ボタンを押してください。



〈図: 確認メッセージ画面 インジェクターIDコード登録〉

- 3) 交換するインジェクターの気筒を選択します。よろしければ **Ok** ボタンを押してください。

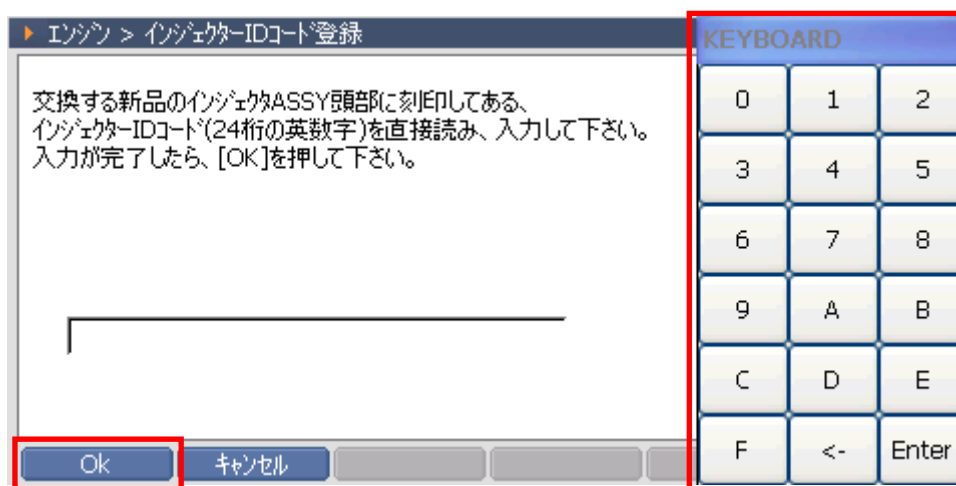


〈図: 気筒選択画面 インジェクターIDコード登録〉

※補足※

6気筒エンジン(ギガ: 6UZ1-TC, 6WG1-TC、フォワード: 6HK1-TC)ではインジェクターIDコードに6気筒分表示されます。

- 4) KEYBOARDを押して、インジェクターに刻印してある24桁もしくは30桁のインジェクターIDコードを入力します。よろしければ **Ok** ボタンを押してください。

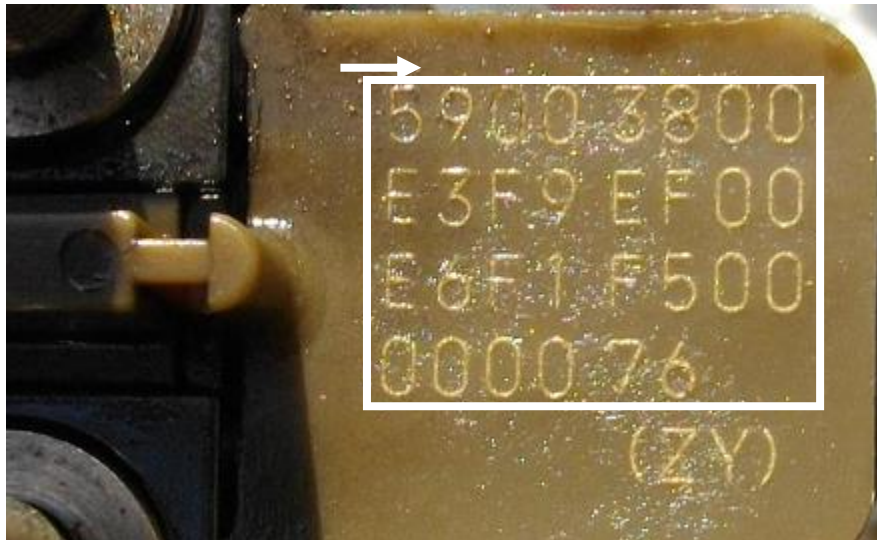


〈図: IDコード入力画面 インジェクターIDコード登録〉

※注意と補足※

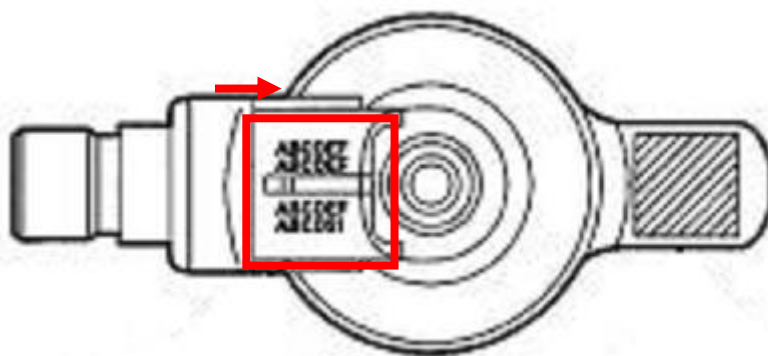
IDコードを入力することでインジェクターの噴射量精度が向上し、排気ガス削減や出力が安定します。インジェクターには下記の2タイプがあり、それぞれIDコードの刻印が異なります。インジェクター上部に下記のようにIDコードが刻印されています。

(例1) エルフ 06モデル 4HL1-NAエンジンの場合



矢印の方向に読み、インジェクターIDコード 30桁をそのまま入力してください。

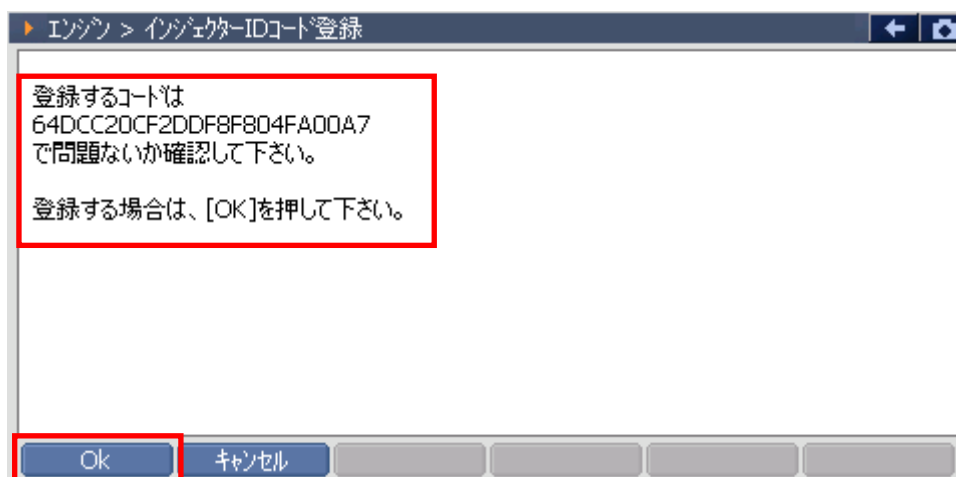
(例2) エルフ 07モデル 4JJ1-TCエンジンの場合



矢印の方向に読み、インジェクターIDコード(24桁)は赤枠内にIDコードが刻印されています。

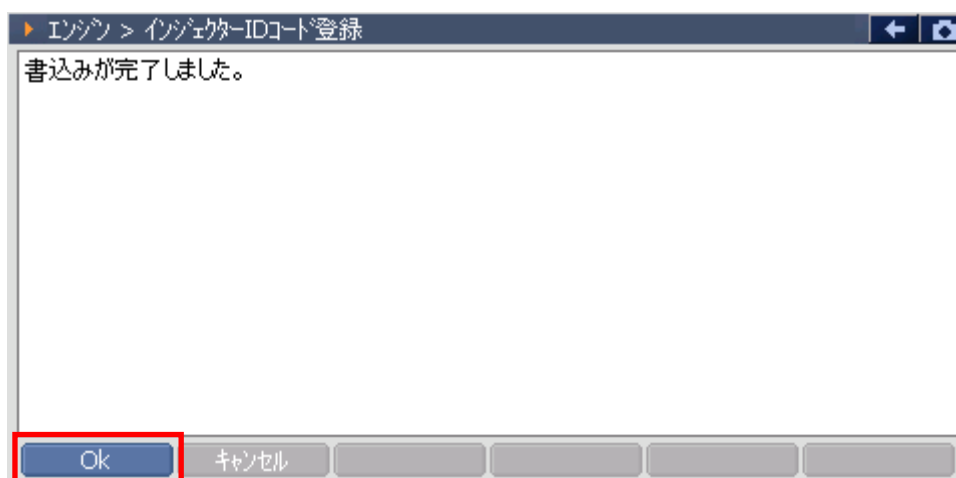
24桁をそのまま入力してください。

- 5) 入力したIDコードが正しければ **Ok** ボタンを押してください。ボタンを押すとECUにインジェクターIDコードを書込みます。



〈図: IDコード確認画面 インジェクターIDコード登録〉

- 6) 書込み完了のメッセージが表示されます。 **Ok** ボタンを押してインジェクターIDコード登録を終了します。




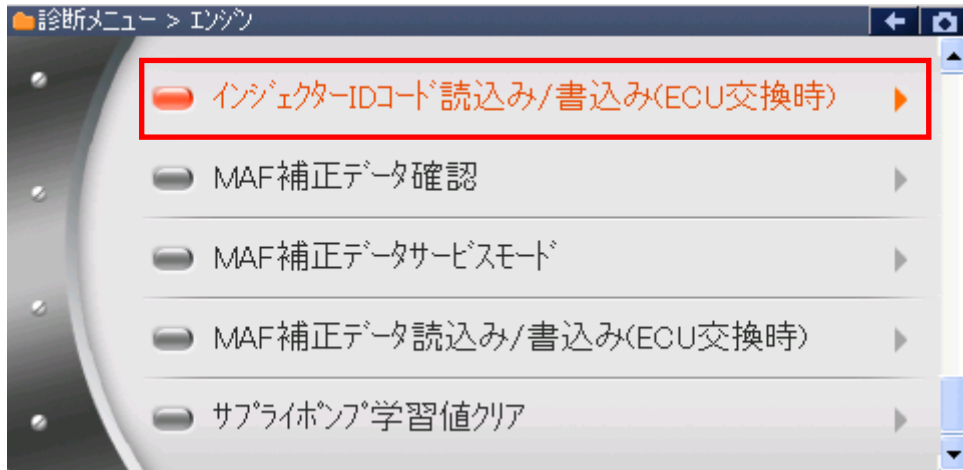
〈図: 完了画面 インジェクターIDコード登録〉

※注意と補足※

誤ったインジェクターIDコードを入力しますと登録されませんのでご注意ください。

《作業サポート「インジェクターIDコード読み込み/書き込み(ECU交換時)」》

- 1) 作業サポート項目選択画面から『インジェクターIDコード読み込み/書き込み(ECU交換時)』を選択して  ボタンを押してください。

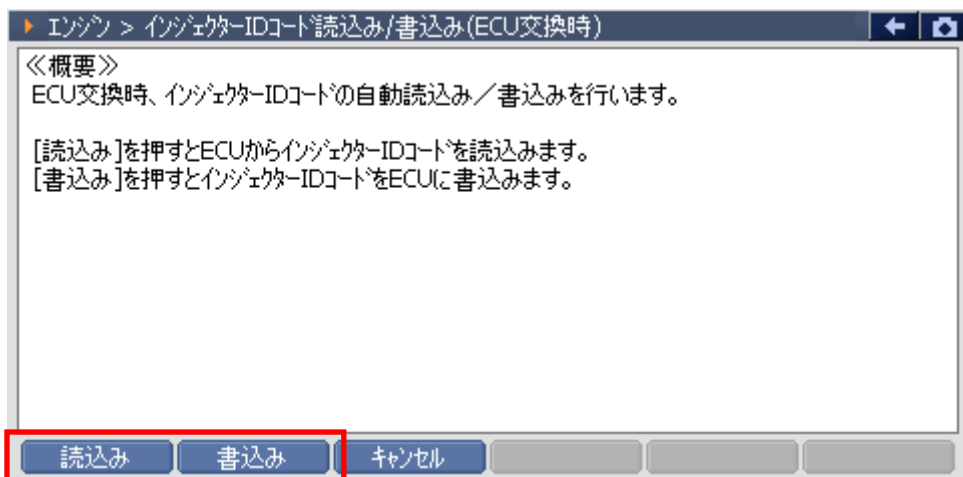


〈図: 作業サポート項目選択画面〉

- 2) 『インジェクターIDコード読み込み/書き込み(ECU交換時)』の注意メッセージ画面に移ります。注意メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。

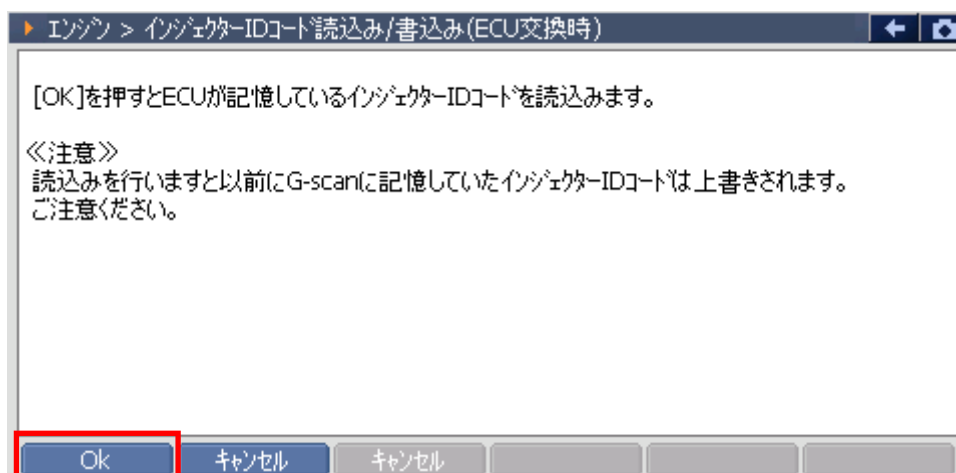
 : ECUからG-scanにインジェクターIDコードを読み込みます。

 : G-scanからECUにインジェクターIDコードを書き込みます。



〈図: 確認メッセージ画面 インジェクターIDコード読み込み/書き込み〉

- 3) **読み込み** ボタンを押すと注意メッセージが表示されますので、内容をご確認いただき、よろしければ **Ok** ボタンを押してください。

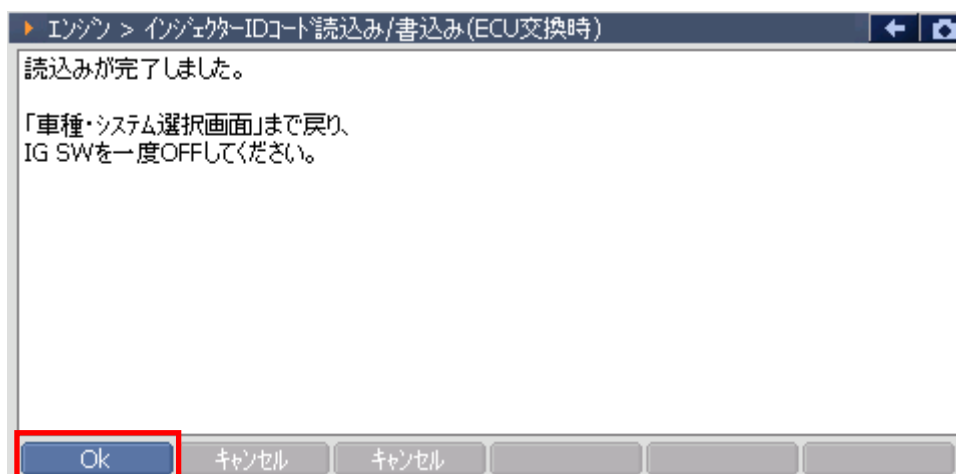


〈図: 確認メッセージ画面 インジェクターIDコード読み込み〉

※注意と補足※

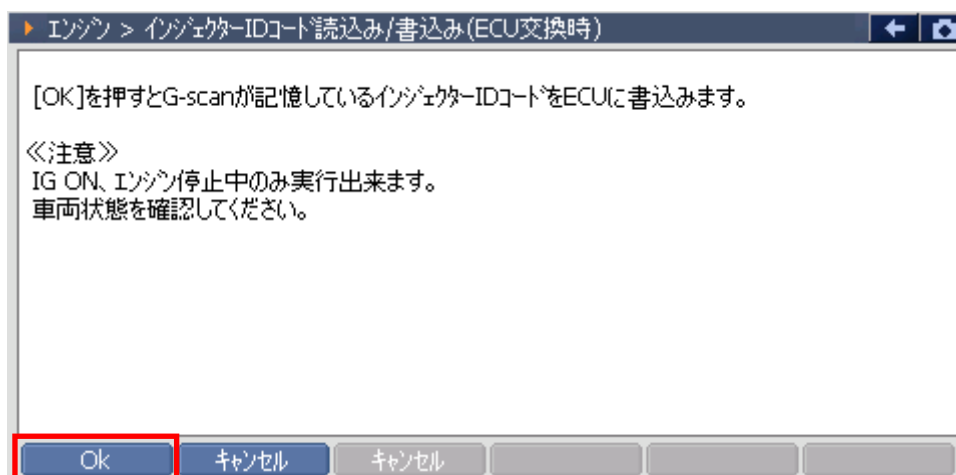
読み込みを行いますと以前に記憶していたデータは上書きされますのでご注意ください。

- 4) 読み込み完了のメッセージが表示されます。 **Ok** ボタンを押してインジェクターIDコード読み込みを終了します。



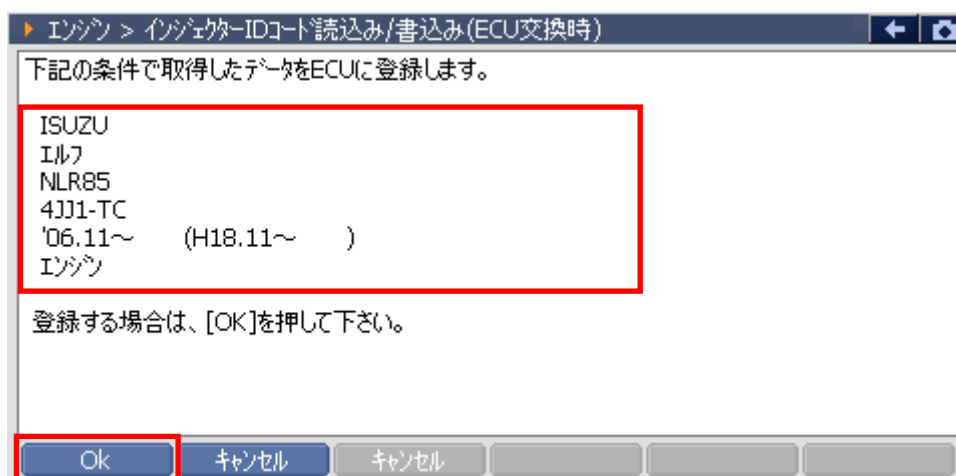
〈図: 完了画面 インジェクターIDコード読み込み〉

- 5) **書込み** ボタンを押すと注意メッセージが表示されますので、内容をご確認いただき、よろしければ **Ok** ボタンを押してください。



〈図: 確認メッセージ画面 インジェクターIDコード書込み〉

- 6) 前回インジェクターIDコードを読込んだ際の情報が表示されますので、内容をご確認いただき、よろしければ **Ok** ボタンを押してください。

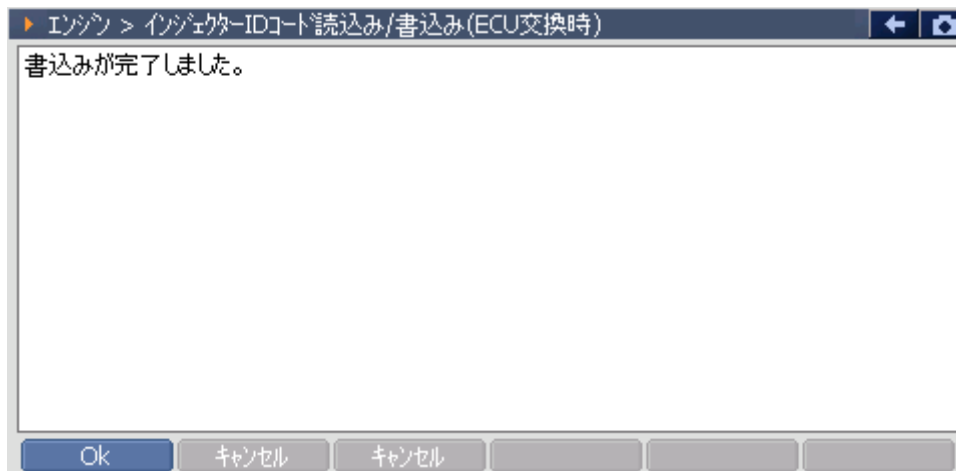


〈図: 確認メッセージ画面 インジェクターIDコード書込み〉

※注意と補足※

データを取得した車種と書込みを行う車種が異なる場合、データの書込みに失敗する場合がありますのでご注意ください。

- 7) 書き込み完了のメッセージが表示されます。 **Ok** ボタンを押してインジェクターIDコード登録を終了します。



〈図:完了画面 インジェクターIDコード書き込み〉


《作業サポート「MAF補正データ読み込み/書き込み(ECU交換時)」》

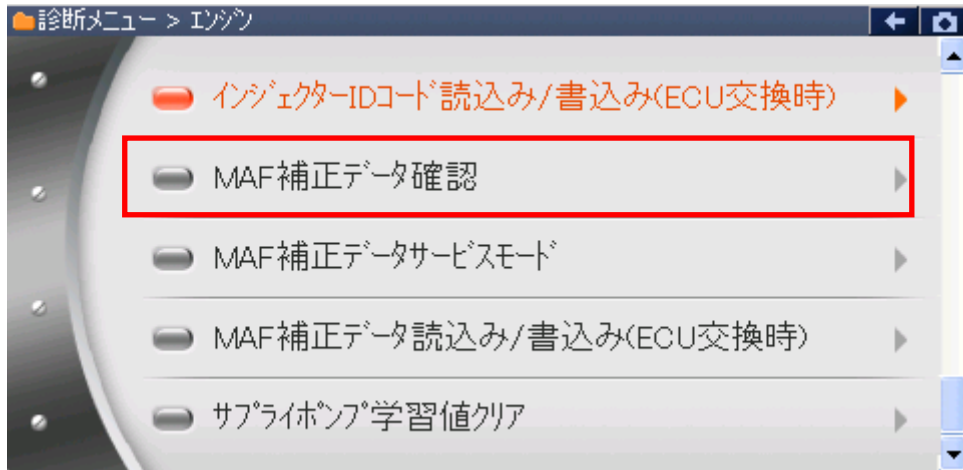
《作業サポート「Q調補正データ読み込み/書き込み(ECU交換時)」》

※注意と補足※


- ・ 基本的な作業の流れは「インジェクターIDコード読み込み/書き込み(ECU交換時)」と同様となります。
- ・ 読み込みを行いますと以前に記憶していたデータは上書きされますのでご注意ください。
- ・ データを取得した車種と書き込みを行う車種が異なる場合、データの書き込みに失敗する場合がありますのでご注意ください。

《作業サポート「MAF補正データ確認」》

- 1) 作業サポート項目選択画面から『MAF補正データ確認』を選択して  ボタンを押してください。



〈図: 作業サポート項目選択画面〉

- 2) 現在のMAF補正值が表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ  ボタンを押し、MAF補正データ確認を終了してください。


下記の画面ではMAF補正值は『1.000』を表します。(現在値 × 単位(1/1000) = 1.000)

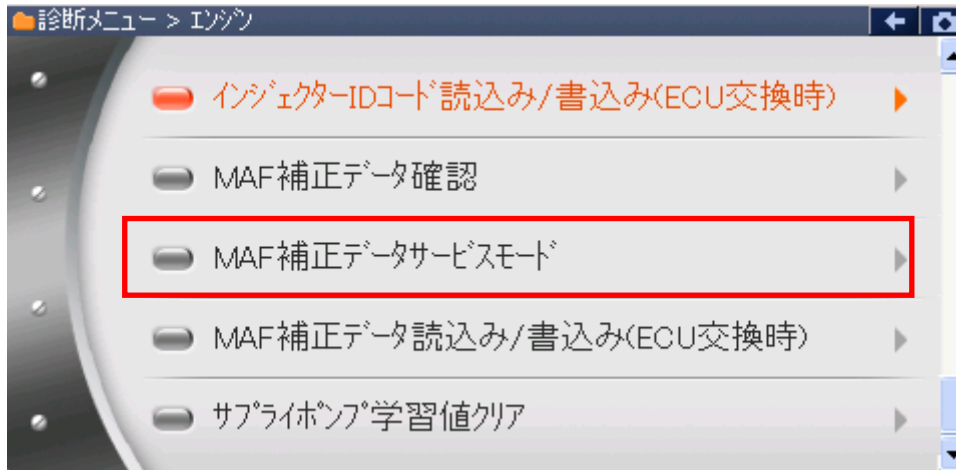
項目名	現在値	単位
MAF補正值	1000.0	1/1000

〈図: 確認画面 MAF補正データ確認〉


《作業サポート「MAF補正データサービスモード」》

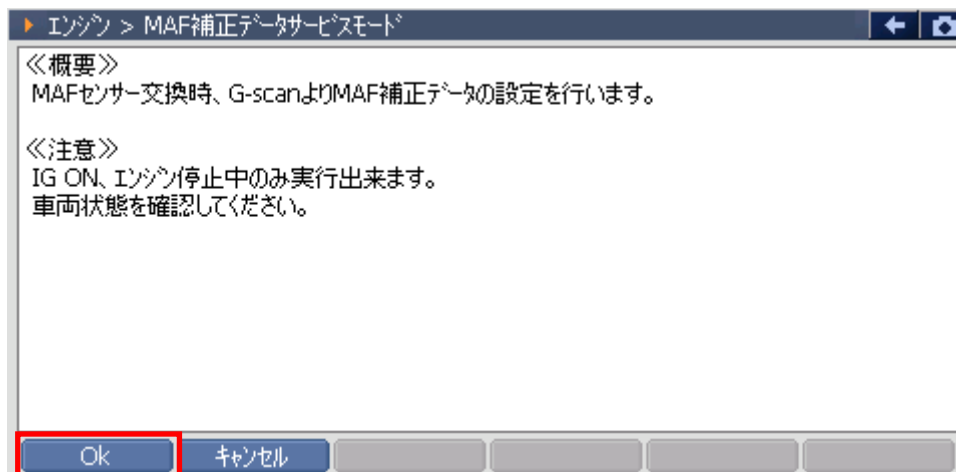
- 1) 作業サポート項目選択画面から『MAF補正データサービスモード』を選択して

 ボタンを押してください。



〈図: 作業サポート項目選択画面〉

- 2) 『MAF補正データサービスモード』の注意メッセージ画面に移ります。注意メッセージが表示されますので、内容をご確認いただき、よろしければ  ボタンを押してください。



〈図: 確認メッセージ画面 MAF補正データサービスモード〉

- 3) 選択値の内容をご確認いただき、設定する値のボタンを押してください。ボタンを押すと押した値を設定します。

下記の画面ではMAF補正値は『1.000』を表します。(現在値 × 単位(1/1000) = 1.000)

項目名	現在値	単位
MAF補正値	1000.0	1/1000

〈図:入力画面 MAF補正データサービスモード〉


- 4) 書き込み完了のメッセージが表示されます。 ボタンを押してMAF補正データサービスモードを終了します。

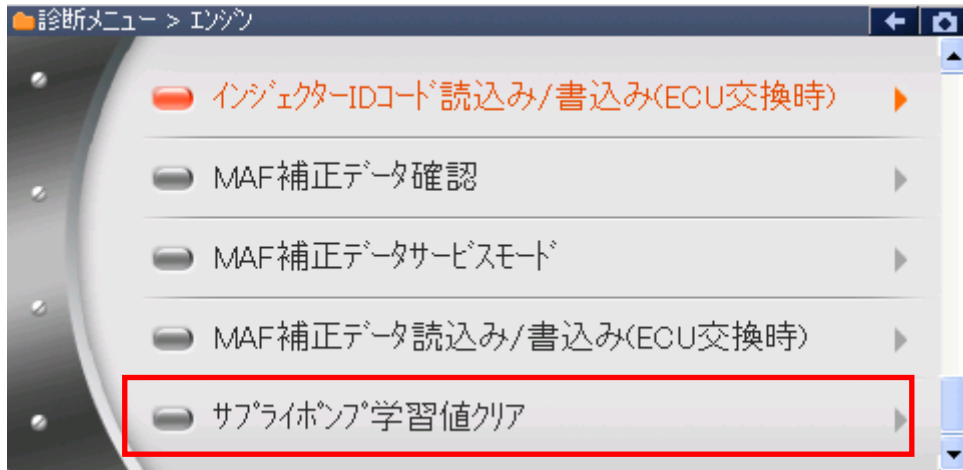
書き込みが完了しました。

〈図:完了画面 MAF補正データサービスモード〉


《作業サポート「サプライポンプ学習値クリア」》

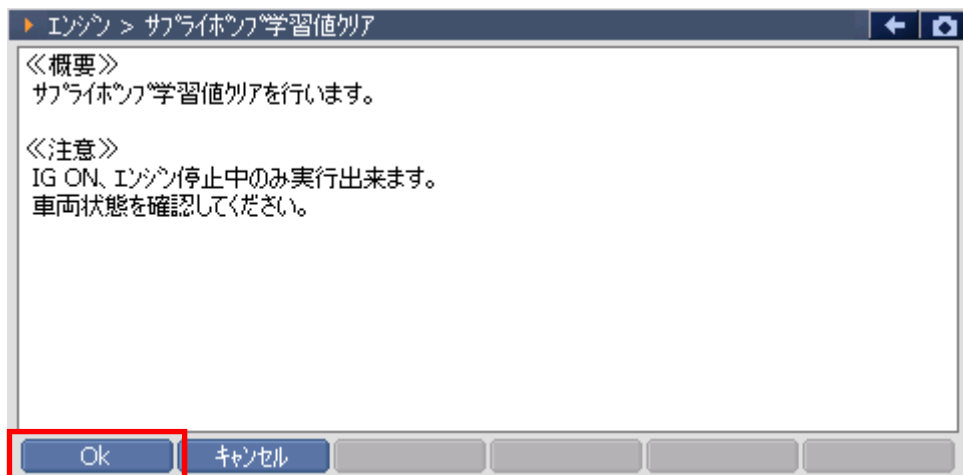
- 1) 作業サポート項目選択画面から『サプライポンプ学習値クリア』を選択して

 ボタンを押してください。



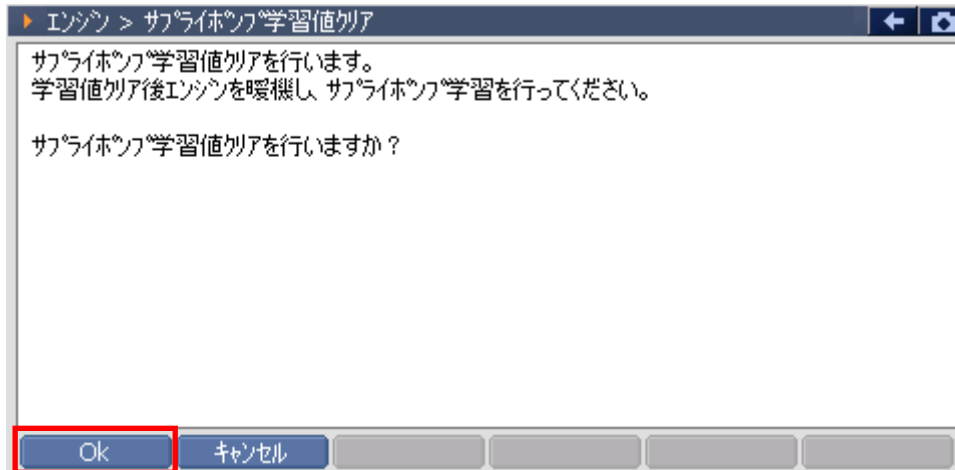
〈図: 作業サポート項目選択画面〉

- 2) 『サプライポンプ学習値クリア』の注意メッセージ画面に移ります。注意メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ  ボタンを押してください。



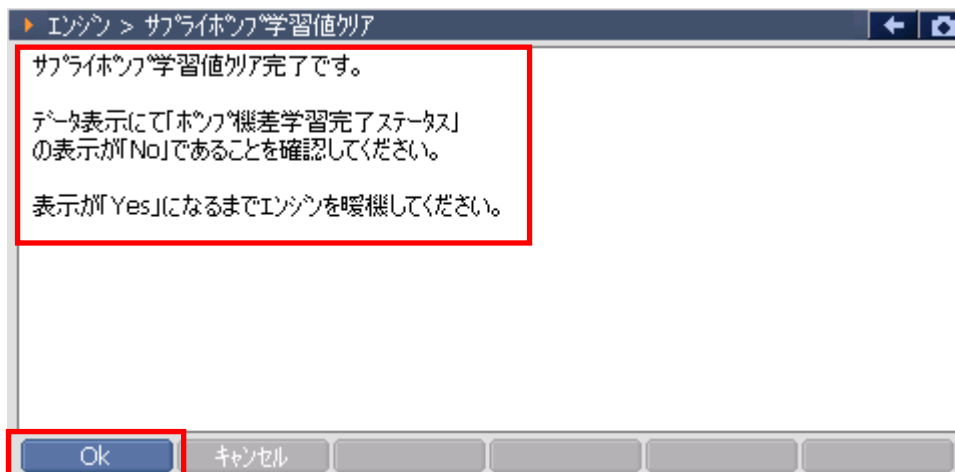
〈図: 確認メッセージ画面 サプライポンプ学習値クリア〉

- 3) 『サプライポンプ学習値クリア』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ **Ok** ボタンを押してください。




〈図: 確認メッセージ画面 サプライポンプ学習値クリア〉

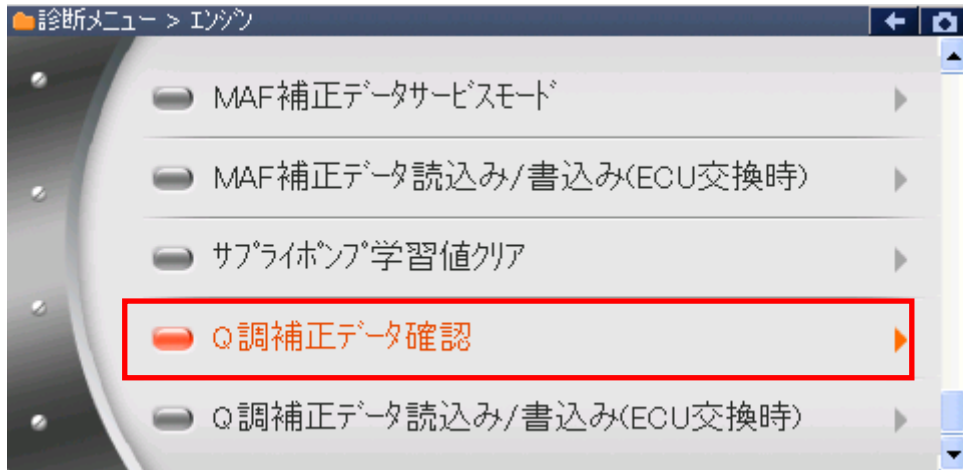
- 4) クリア完了のメッセージが表示されます。 **Ok** ボタンを押してサプライポンプ学習値クリアを終了します。メッセージの内容に従ってエンジンを暖機してサプライポンプ学習値クリアの作業を完了してください。




〈図: 確認メッセージ画面 サプライポンプ学習値クリア〉

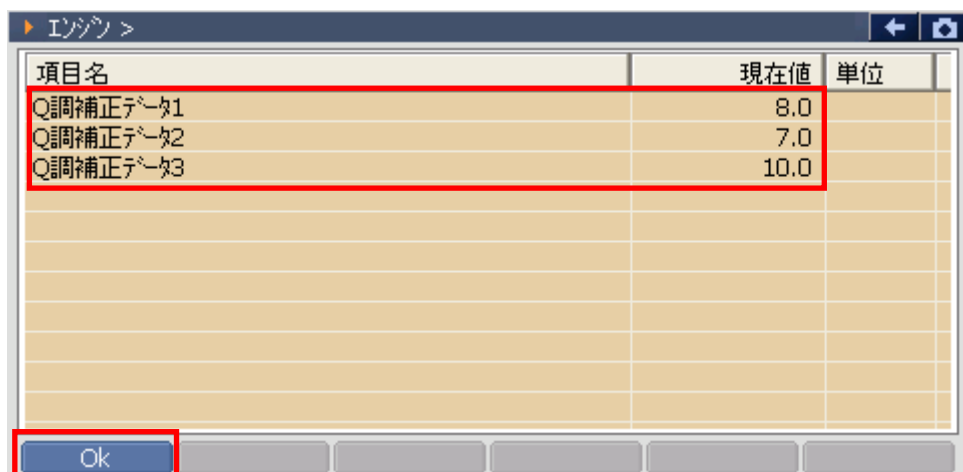
《作業サポート「Q調補正データ確認」》

- 1) 作業サポート項目選択画面から『Q調補正データ確認』を選択して  ボタンを押してください。



〈図: 作業サポート項目選択画面〉

- 2) 現在のQ調補正データが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ  ボタンを押し、Q調補正データ確認を終了してください。




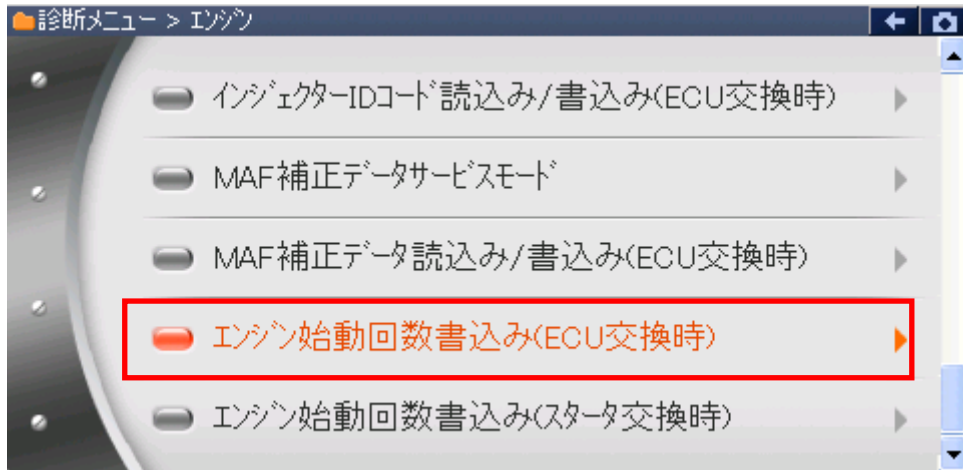
項目名	現在値	単位
Q調補正データ1	8.0	
Q調補正データ2	7.0	
Q調補正データ3	10.0	

Ok


〈図: 確認画面 Q調補正データ確認〉

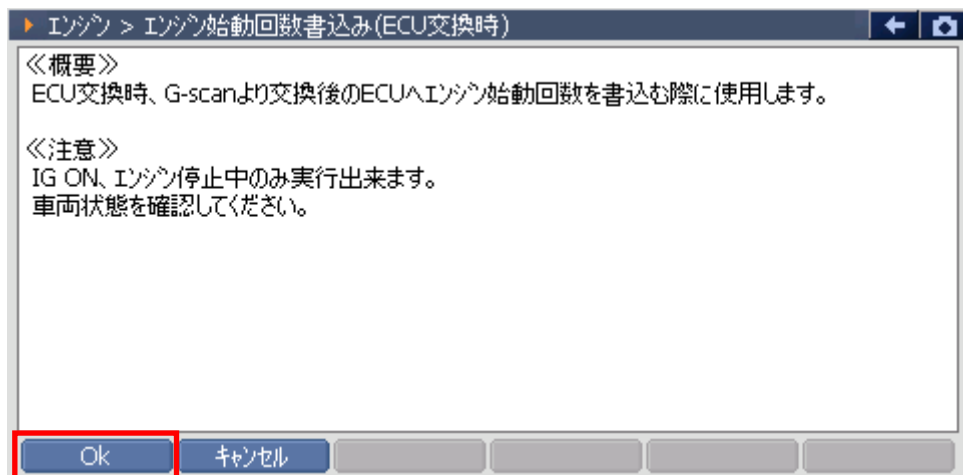
《作業サポート「エンジン始動回数書込み(ECU交換時)」》

- 1) 作業サポート項目選択画面から『エンジン始動回数書込み(ECU交換時)』を選択して  ボタンを押してください。



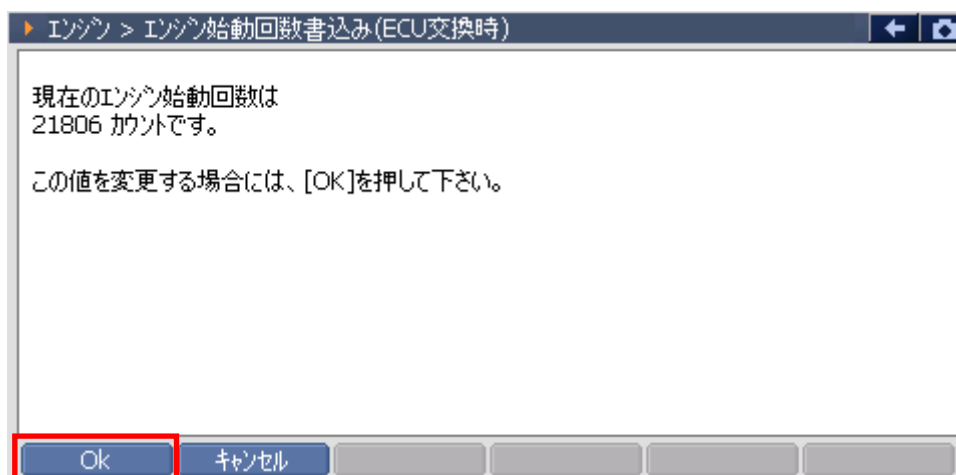
〈図: 作業サポート項目選択画面〉

- 2) 『エンジン始動回数書込み(ECU交換時)』の注意メッセージ画面に移ります。注意メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ  ボタンを押してください。



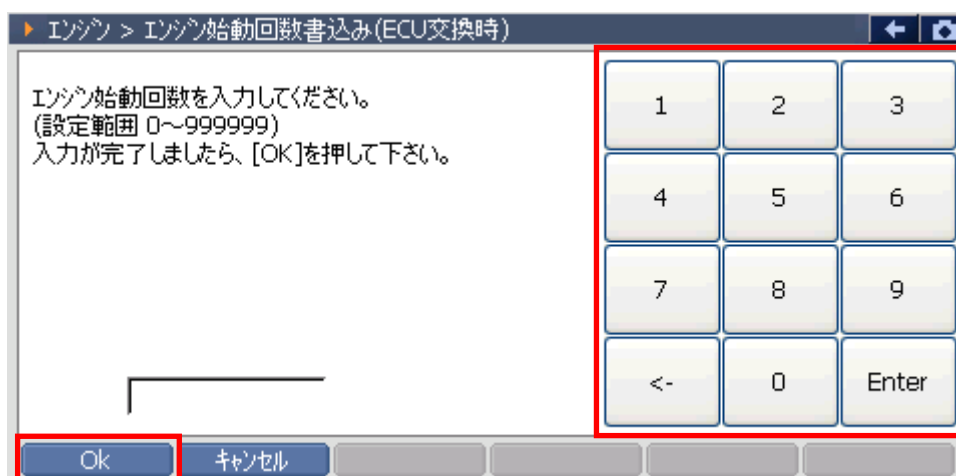
〈図: 確認メッセージ画面 エンジン始動回数書込み(ECU交換時)〉

- 3) 現在のエンジン始動回数が表示されます。変更する場合には **Ok** ボタンを押してください。



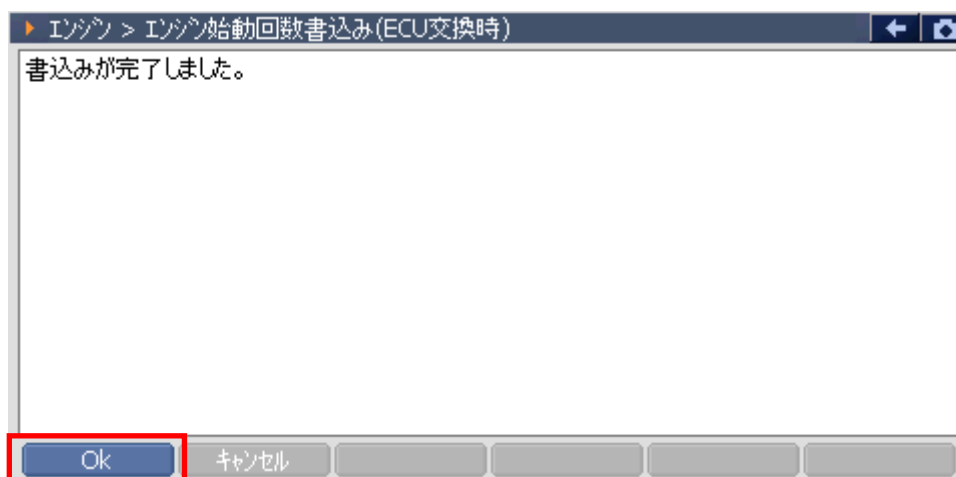
〈図:確認メッセージ画面 エンジン始動回数書込み(ECU交換時)〉

- 4) 画面左のボタンを押して、エンジンの始動回数を入力します。よろしければ **Ok** ボタンを押してください。



〈図:エンジン始動回数入力画面 エンジン始動回数書込み(ECU交換時)〉

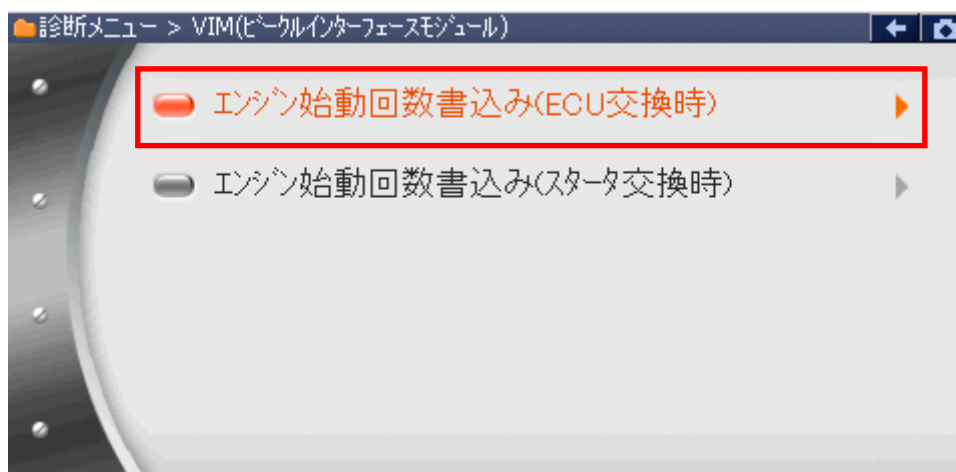
- 5) 書き込み完了のメッセージが表示されます。 **Ok** ボタンを押してエンジン始動回数書き込み(ECU交換時)を終了します。



〈図:完了画面 エンジン始動回数書き込み(ECU交換時)〉

※注意と補足※

- ・ VIM(ビークルインターフェースモジュール)にも同様の機能があります。基本的な作業の流れは「エンジン始動回数書き込み(ECU交換時)」と同様となります。



〈図:作業サポート項目選択画面〉

《作業サポート「エンジン始動回数書込み(スタータ交換時)」》

※注意と補足※

- ・ エンジンスタータを交換した際に行う作業です。
- ・ 基本的な作業の流れは「エンジン始動回数書込み(ECU交換時)」と同様となります。
- ・ VIM(ビークルインターフェースモジュール)にも同様の機能があります。基本的な作業の流れは「エンジン始動回数書込み(ECU交換時)」と同様となります。



株式会社 インターサポート

〒310-0836

茨城県水戸市元吉田町329-5

Tel 029-248-0616 Fax 029-248-1609

<http://www.inter-support.co.jp>

製品保守センター

(修理のお問合せはこちら)

Tel 029-304-0185

サポートセンター

(製品のご相談・ご質問はこちら)

Tel 0570-064-737 (ナビダイヤル※)

Fax 029-304-0167

※IP電話・PHSからはご利用出来ませんので、FAXでお問い合わせください。

2014年2月発行 第21版

本書を株式会社インターサポートの許可無く複写、複製、転載する事を禁じます。

本書に記載の製品、製品仕様、および使用方法は改良のために、将来予告なしに変更される場合があります。

G1PZFDN001-15-21